

アークフラッシュ施工された老人施設からは6年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

<<通販開始>> <http://homepage2.nifty.com/arc-clean/>

< ** > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

<<インフルエンザ情報>>

インドネシアで家族や親類計8人が鳥インフルエンザ(H5N1型)に感染したとみられ、うち7人が死亡した事例に対し、各国の感染症専門家が懸念を強めている。家族の集団感染としては過去最大規模で、「ヒトからヒト」への感染が複数回起きた可能性が26日までに明らかになったからだ。

世界保健機関(WHO)の調査では、ヒトの世界で大流行が心配されるようなウイルス変異は検出されていない。たまたま条件がそろって家族内で感染が広がった「特異例」との見方がある一方、ウイルスがヒトに定着する兆しである可能性も否定できず、今後の調査に注目が集まっている。

集団感染は北スマトラ州カロ県の農村地帯で起きた。

県健康福祉本部に30日入った連絡によると、有田町立曲川小の3年生の1クラスで19人がインフルエンザにかかり、学級閉鎖になった。冬場に流行するインフルエンザの集団発生が5月末になって起こるのは珍しい。県衛生薬業センターでウイルスを分析する。同本部健康増進課によると、このクラスの児童数は30人で、同日は13人が欠席し、登校したうち6人にインフルエンザの症状があった。同クラスの児童は給食終了後に下校させ、31日~6月1日を学級閉鎖とした。29日は9人が欠席し、2人が早退していた。今シーズンのインフルエンザ集団発生は、3月6日に太良町立多良中で学級閉鎖して以来で7件目。発生の終了時期は遅くなる傾向があり、05年は5月17日、04年は4月19日、03年は3月19日だった

世界保健機関(WHO)は、インドネシアで新たに6人の鳥インフルエンザ感染を確認し、このうち3人が死亡したと発表した。

これにより、WHOが確認している世界の鳥インフルエンザによる死者は10カ国で合計127人、感染者数は224人となった。

今回確認された感染者の一部は鳥と接触したとみられているが、2人については、WHOと地元当局が感染経路を調査している。



鳥のインフルエンザ感染を調べる。インドネシアにて

<< 東京お台場 >>

東京のお台場に建設中のリゾートトラストの高層ツインタワーの工事が6月1日に行われる。アークフラッシュ蛍光灯も採用となった

<< 施工情報 >>

東京早稲田の八幡寿司



店内はアークフラッシュ蛍光灯を全部採用になりました

*** 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 honbu@arc-flash.com

1号～46号までを配信希望の方はメールにて申込ください。